

MX-606D 回路図

MK-1188 P.C.B

回路及び定数は技術開発などに伴い変更になることがあります。

(定数のないCは、内付Cを除き全て103)

3SK 73 Q1, 7, 8, 15

2SK 192A Q2, 9

2SC 945 Q3~6

2SC 2603 Q10, 11, 14, 18~20

2SC 372G Q12

2SC 2053 Q17

11.27200 MHz X1

13.00883 MHz X2

1SV50 D1

05Z51 D2~4

2K60 D5~9, 14~16

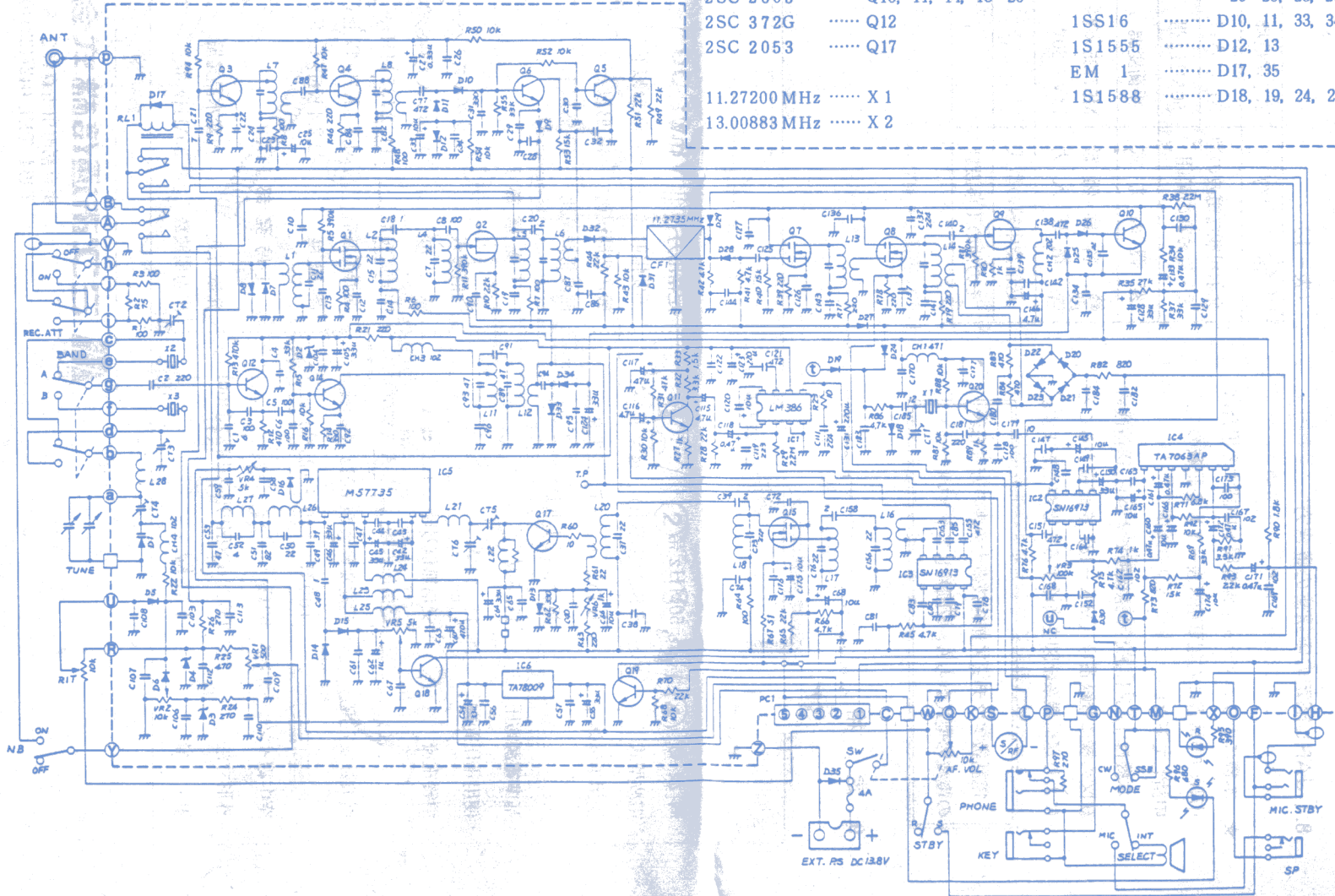
20~23, 25, 26

1SS16 D10, 11, 33, 34

1S1555 D12, 13

EM 1 D17, 35

1S1588 D18, 19, 24, 27~32



6. オプションパーツ

品名	内容	定価	送料
MS-1	プレストークS W付のスピーカ マイクロホン。	¥3,800	¥350
CW-6D	CW運用に便利 なセミブレイク イン及びサイド トーンのユニ ットです。完 全調整済です から、ドライ バーだけで 本体に内蔵 できます。	¥3,200	¥350
6X-05S	50.00~50.10MHz	一 波 ¥1,500	¥200
6X-15S	50.10~50.20 "		
6X-35S	50.30~50.40 "		
6X-45S	50.40~50.50 "		

★ オプション水晶の入れ方と調整。

- ① 本機の下ケース下部にある交換ボタの黒いノブ2本を引き、フタを取ります。

② 中にある白い印刷で明記されたBのソケットに水晶をしっかりと差し込みます。

③ 受信状態にしてバンドSWをBにします。追加した水晶の下限周波数(6X-15Sを追加したなら50.10MHz)でローカル局に電波を出してもらい、本機のダイヤルを0目盛に合わせて、その位置でローカル局が聞こえるようにBの水晶ソケット横のCT3トリマを調整棒でゆっくり回し、聞こえたら調整は完了です。

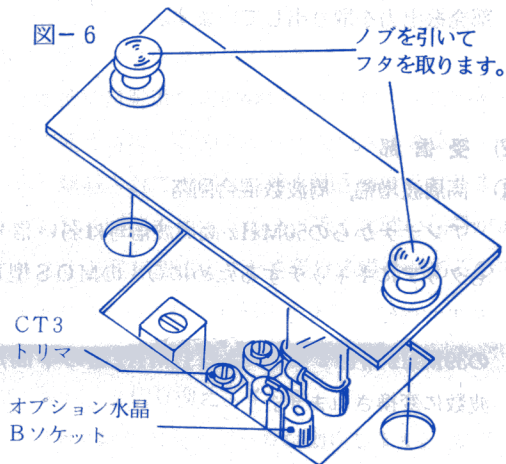


図-7

